

令和4年度 牛久市社会福祉協議会 事業報告書

実施事業名	実施内容	実績成果等
I. その人らしい生き方を支援する。		
1. 人が出会い、ふれあえる場の提供 家族や地域の絆を深め、お互いが理解し合い、支え合える場を作り、かけがえのない人の輪を広げる		
(1) 家族や地域をつなげる環境の整備		
①介護者リフレッシュ事業 ②介護サロンぬくもり	○介護者の集い ・11/22 14名 笠間稲荷、道の駅かさま ○介護サロンぬくもりの協働実施 ・4/11、5/10、6/10、7/11、8/10、9/12、10/11、11/10、12/12、1/10、2/10、3/10 ・参加者延べ122名 ・介護の悩みの共有・介護相談等	・小旅行を通して、参加者同士の交流を図ることができた。 ・感染予防対策を行い実施することができた。参加者同士の交流を通して、リフレッシュにつながった。
2. 自分自身の表現する場と社会貢献につなげる場の提供 その人らしい生きがいをづくりを支援し、地域において個々の力が発揮できるきっかけをつくる		
(1) 生きがいをづくりの支援		
①盛人の集い ②高齢者いきがい活動	○盛人の集いの開催 ・11/26 市三日月橋生涯学習センター ・参加者23名、対象者942名 ・講演 人生100年時代のしあわせづくり 「2つの世界」と新「役」聖書 ・講師 長谷川幸介氏 ○太極拳教室 ・第1・3金曜日（全20回）17名 ・第2・4金曜日（全20回）19名 ○フォークダンス教室 ・第1・3木曜日（全20回）12名 ・第2・4木曜日（全20回）19名 ○初心者向け男性料理教室 ・10月～12月（全3回）12名	・感染防止対策を徹底して実施した。第二の人生に向け、地域活動へも積極的に参加したいという声が聞かれた。 ・感染防止対策を徹底して実施した。参加者の生きがいと健康増進につなげることができた。
(2) 自分の力を地域に活かすきっかけづくり		
①地区社協リーダー研修 ②一家にひとり地域ヘルパー養成研修	○ふれあい便交流会の開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催は中止し、牛久市買物支援・支えあいのまちづくり推進協議会メンバーに実績資料の配布のみ行った ○地域ヘルパー養成研修の実施 ・開講期間12/7～12/23のうちの4日間 地域医療連携センター	・新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会の開催は中止し資料配布のみ行った。移動店舗ふれあい便は、1日あたりの平均客単価及び平均利用客数ともに、令和3年度と比べ若干減少した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた日程を変更し、感染防止対策を徹底

実施事業名	実施内容	実績成果等
	・ 修了者 15 名	して実施することができた。
II.地域住民の生活課題を解決する。		
1. 総合相談・総合支援の充実		
各関係機関・団体等との連携強化を図り、住民の生活課題を早期発見・解決に結びつける仕組みを構築する		
(1) 総合相談窓口の整備と各種相談機関との連携		
①総合相談「あんしんホットライン」の運営等	○専用フリーダイヤル ・ 常時開設 相談件数 210 件 ○専門相談の設置 相談件数 169 件 【心配ごと相談】第 1～4 週金曜日 ・ 主な相談内容は財産管理、相続等 【高齢者に関する相談】随時 ・ 家族介護や認知症についての相談	・ あんしんホットラインは、市民の身近な相談窓口として、財産管理や相続など様々な相談が寄せられ、相談内容に応じて専門機関等へつないだ。
2. 福祉サービス利用支援の充実		
住民の立場に立った福祉サービス利用の援助や、日常生活における課題に対する支援を行う		
(1) 要援護高齢者への支援の充実		
①地域包括支援センター事業	○総合相談支援業務・権利擁護業務 ・ 新規相談件数 888 件 うち高齢者あんしん電話 96 件 ・ 延べ対応件数 9,661 件 ・ グループホーム運営推進会議 22 回 (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部書面会議での代替実施。) ○包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・ 介護支援専門員連絡協議会開催 4 回 会員数 153 名 ・ 訪問看護事業所情報交換会 6 回 ・ 多職種連携研修会 (オンライン) 40 名 ・ 事業所間交流会 (集合型オンライン併用) 20 名 ○介護予防ケアマネジメント業務 ・ 指定介護予防支援事業 実施件数 2,604 件 介護予防支援収入 12,866,743 円 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業 実施件数 2,638 件 ケアマネジメント費収入 13,166,753 円 ○訪問調査事業 認定調査件数 80 件 認定調査収入 308,000 円	・ 高齢者等からの相談について訪問や電話にて対応し、援助の必要な方に適切な支援につなげることができた。 ・ 新規相談件数は若干減少しているが、継続的な対応の必要なケースが増加している。
②地域ケア個別会議事業	・ 開催回数 4 回 (6・9・12・3 月開催) ・ 検討事例数 8 事例	・ 多職種が専門的視点から検討することで、自立支援、重度化防止のための介護支援専門員のケ

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>③認知症初期集中支援事業</p> <p>④認知症ケア向上推進事業</p> <p>⑤見守り台帳整備事業</p>	<p>・対応件数 6件</p> <p>・チーム員会議 延べ8回</p> <p>・訪問回数 延べ30回</p> <p>「未受診の認知症が疑われる高齢者への支援」</p> <p>「主治医に認知症高齢者の状況が伝わらず受診に悩みのある家族への支援」</p> <p>「介護保険サービス未利用の認知症高齢者への支援」</p> <p>○相談対応件数 223件</p> <p>○認知症サポーター養成講座 14回</p> <p>○認知症サポーターステップアップ研修 18名修了</p> <p>○認知症周知・啓発活動</p> <p>・中央図書館にて認知症パネル展開催・認知症ケアパス配布</p> <p>・市民向け認知症講演会 36名</p> <p>○多職種連携研修会 52名</p> <p>登録人数 67行政区（準行政区含）4,024名（65歳以上高齢者の16.0%）うち、高齢者世帯数 581世帯、独居高齢者世帯数 1,479名</p>	<p>アマネジメント支援を行うことができた。</p> <p>・認知症の診断・受療に繋がり、家族の協力のもと、定期的な受診や服薬ができるようになり、サービス利用に繋がった。</p> <p>・総合病院相談室への連絡・相談などの支援をしたが、主治医の意見書や診療情報提供書の作成を断られたケースについて、サポート医への相談により、サポート医への受診変更が円滑に進んだ。</p> <p>・在宅で介護保険サービスに繋がりにくいケースについて、施設入所への希望変更に伴い、入所までの支援ができた。</p> <p>・認知症の人やその家族が暮らしやすい環境整備のために、地域住民への認知症に対する正しい理解の促進と関係機関等との連携がよりよくできるよう講演会等を企画し、体制構築を促進できた。</p> <p>・要援護対象者の相談対応時に、基本情報の確認および緊急連絡先の把握等を迅速にすることができ、よりスムーズな支援に役立てることができた。</p>
(2) 障がい者への支援の充実		
<p>①障害者相談支援事業</p>	<p>●一般相談</p> <p>○利用者数</p> <p>障害児 89名</p> <p>障害者 236名</p> <p>○相談件数 4,258件(児282件・者3,976件)</p> <p>身体障害 406件(児10件・者396件)</p> <p>重症心身障害 124件(児57件・者67件)</p> <p>知的障害 683件(児60件・者623件)</p> <p>精神障害 2,635件(児25件・者2,610件)</p> <p>発達障害 312件(児127件・者185件)</p> <p>高次脳機能障害 65件(児0件・者65件)</p>	<p>・訪問時のコロナ感染対策を行うとともに、電話やオンラインでの面談や支援会議等を行うことで、事業を休止することなく行うことができた。</p> <p>・相談件数は前年度(3,881件)から約10%増えた。特に電話相談の伸びが大きく、精神障がいのある方からの不安等の訴えが最も多かった。傾聴や助言を行うこと</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>難病 3件(児0件・者3件) その他 30件(児3件・者27件)</p> <p>○支援方法</p> <p>訪問相談 380件 来所相談 123件 同行 84件 電話相談 2,653件 電子メール・FAX 26件 個別支援会議 84件 関係機関 882件 その他 26件</p> <p>・市受託金収入 29,818,301円</p> <p>●特定指定相談</p> <p>○利用実績</p> <p>契約件数 446件(児171件・者275件)</p> <p>身体障害 54件(児9件・者45件) 重症心身障害 21件(児8件・者13件) 知的障害 193件(児78件・者115件) 精神障害 75件(児1件・者74件) 発達障害 92件(児75件・者17件) 高次脳機能障害 8件(児0件・者8件) 難病等 3件(児0件・者3件)</p> <p>・計画案作成件数 472件 ・モニタリング件数 729件 ・自立支援費収入 20,497,269円</p>	<p>で日々の生活の安定につなげることができた。</p> <p>・引きこもりや家族全体に支援が必要な世帯が多く、関係機関と連携しながら継続した支援を行うことができた。</p> <p>・計画相談の新規契約件数は、51件であった。そのうち障害児相談支援は38件と全体の74%を占めた。複数の民間児童発達支援事業所を利用する未就学児が増える一方、児童を扱える特定相談支援事業所が少ないため、依頼が集中してしまう傾向があった。</p>
(3) 社会的援護を必要とする人の権利擁護		
<p>①福祉サービス利用 援助事業</p> <p>②成年後見サポート センター事業</p>	<p>○相談件数 951件</p> <p>認知症高齢者 311件 知的障害者 139件 精神障害者 466件 その他 35件</p> <p>○契約件数 32件</p> <p>認知症高齢者 14件 知的障害者 6件 精神障害者 9件 その他 3件</p> <p>○新規契約件数 5件 ○解約件数 7件 ○生活支援員 14名</p> <p>○相談支援 185件</p> <p>・初回相談 75件【高42.知5.精10.他18】 ・継続相談 110件【高73.知4.精10.他23】</p>	<p>・精神障害者、知的障害者の利用者が全体の半数である。それに伴い、特に精神障害者からの相談が多い。</p> <p>・利用者については、定期的なモニタリングを実施することで、事業利用の必要性を精査し、家族支援へ移行したケースもあった。</p> <p>・中核機関における体制整備によって、権利擁護相談が他機関と連携をとれるようになった。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>③成年後見制度利用促進に伴う中核機関委託事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○法人後見業務 後見 3、保佐 1、補助 0 ○法人後見監督業務 1件（市民後見人） ○広報啓発活動 社協広報紙掲載、パンフレット・チラシ配布 ○支援員活動フォローアップ業務 フォローアップ研修 10/13 12名 ○中核機関との連携 ・地域連携協議会への参加 5/25、10/18 ○運営委員会 5/16、11/15 ○後見受任審査会 3/16 ○地域連携ネットワークの推進 ・牛久市成年後見地域連携協議会委員委嘱 18名 ・牛久市成年後見地域連携協議会 5/25 14名 10/18 14名 ・協議会委員及び組織団体向け成年後見利用促進研修会 9/15 ZOOM 14名 オンデマンド 4名 ○広報機能 ・金融機関及び福祉関係者向け成年後見制度講演会 12/8 19名 ・パンフレットの作成及び配布 事業所 74ヶ所 金融機関 17ヶ所 ・一次相談事業所紹介チラシ配布 事業所 67ヶ所 金融機関 17ヶ所 ・市民向け成年後見研修会 6月4回 24名 9月4回 19名 12月2回 8名 3月3回 15名 ○相談機能 ・相談件数 580件 ・チーム形成 27チーム ・チーム支援会議 13回 ・チーム支援対応 111回 ・一次相談事業所連絡会 4回 ・一次相談事業所、福祉事務所を対象とした研修会 基礎研修 7/6 27名 7/12 26名 応用研修 8/24 13名 ○成年後見制度利用促進機能 ・成年後見人等候補者調整会議 委員委嘱 7名 9/28 1件 3/2 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見サポートセンターのチラシを新たに作成し、関係機関への配布を行った。 ・牛久市成年後見地域連携協議会において、各委員が所属する団体等と協議会の関りや成年後見等の担い手の育成について協議し、地域連携ネットワークの推進を図ることができた。 ・成年後見制度利用促進パンフレットの作成や成年後見制度の研修会を行い、市民や各関係者に権利擁護の必要性を周知することができた。 ・一次相談事業所や成年後見人等からの相談に対応し、権利擁護支援チームとして各関係機関と連携を図りながら、本人を支援することができた。また、チーム支援会議を開催し、本人の課題解決に向けて話し合うことができた。 ・成年後見人等候補者調整会議を開催し、本人の課題を解決するために適切な成年後見人等候補

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成研修修了者向けのフォローアップ研修 11/29 19名 ○後見人支援機能 <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見選任後の相談 14件 ・親族後見人向け後見活動勉強会 2/15 22名 ○不正防止効果の取り組みに向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・各事業に不正防止効果の視点を反映できるように、担当課と打ち合わせを行った。 	<p>者を調整することができた。</p>
(4) 課題解決のための情報提供及び支援		
<ul style="list-style-type: none"> ①生活福祉資金貸付事業 ②小口資金貸付事業 ③歳末たすけ合い配分事業 ④自立相談支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 143件 ・生活福祉資金特例貸付 13件 <ul style="list-style-type: none"> 緊急小口特例 9件 総合支援資金 4件 ・生活福祉資金特例貸付償還猶予申請 1件 ・相談件数 0件 ・貸付件数 0件 ・償還件数 0件 ○在宅援護対象見舞金配布事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象：162世帯×15,000円 ○一人暮らし高齢者ふれあい訪問事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象 75歳以上一人暮らし高齢者 1,770名 ・配布数 1,658名 ○生活困窮者の新規相談件数 294件 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付相談 143件 ・住居確保給付金 28件 ・自立支援金 5件 ・就労相談 10件 ・滞納・債務相談 9件 ・ひきこもり 2件 ・特例貸付償還について 22件 ・就労準備支援カフェ参加・問合せ 23件 ・病気相談 4件 ・食べるものがない 23件 ・その他 25件 ○自立支援計画(プラン)作成 16件 <ul style="list-style-type: none"> ・住居確保給付金 1件 ・自立支援金 1件 ・就労準備支援事業 6件 ・家計改善支援事業 5件 ・就労支援 11件 (重複あり) ○他制度利用や支援へのつなぎ 142件 <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金特例貸付 13件 ・生活福祉資金特例貸付償還猶予申請 1件 ・生活保護の相談につなぐ 19件 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス特例貸付の相談及び申請の対応を行った。償還開始に伴い、特例貸付利用者からの相談に応じてフォローアップを行った。相談者の状況に応じて自立相談支援事業につなぎ、就労支援や家計相談を行った。 ・ふれあい訪問事業は、コロナ禍で地域の交流が希薄化している中、対象者の皆さんに大変喜ばれた。 ・新型コロナウイルス特例貸付の償還に伴い、償還が困難な世帯からの相談が増え始めた。不安定な雇用状態や生活収支の問題を抱える世帯もあり、就労支援や家計相談を行った。

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧支援 17 件 ・生活保護受給者等就労自立促進事業 6 件 ・就労準備支援事業（カフェ） 32 件 ・家計改善支援事業（生活収支の確認） 54 件 ○支援調整会議の実施 12 回 （4/22、5/20、6/21、7/15、8/23、9/13、10/21、11/15、12/22、2/3、2/24、3/24） ・個別ケースについての検討 ・プラン策定、終結の承認 ○関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所 87 件 （社会福祉課 57 件、こども家庭課 12 件、医療年金課 8 件、健康づくり推進課 4 件、商工観光課 1 件、消費生活センター2 件、税務課 1 件、建築住宅課 2 件） ・ハローワーク 12 件 ・障害者相談事業所 28 件 ・就労継続支援事業所 5 件 ・地域包括支援センター 21 件 ・法テラス 2 件 ・その他団体 3 件 ○フードバンクと連携した食糧支援 14 件 （米 46.7 kg、食品 208.2 kg） ・市民からきずな BOX への食品提供 （米 980.1 kg、食品 1116.0 kg） ○関係機関研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・11/18 27 名 中央生涯学習センター 講師：茨城県ひきこもり相談支援センター浅沼センター長 講話「ひきこもりの概要と相談支援に関して」 ○就労準備支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 7 名 （プラン作成 6 件 支援回数 140 回） 就労体験 3 名、就労者数 6 名 他地域活動につなぐ 1 件 ・就労準備支援カフェの実施 48 回 参加人数延べ 203 名(参加者実数 28 名) 就労相談 19 名 ・牛久小地区カフェの実施 8 回 参加人数延べ 21 名(参加者実数 10 名) ○家計改善支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 4 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会、障害者相談支援事業所、地域包括支援センター、市役所各課等の参加により研修会を開催することができた。 ・就労準備支援カフェを毎週開催し、働くことに悩みを抱えている方の就労相談や、家族以外の人との関わりが少ない方等の交流の場とした。 ・牛久小地区カフェを月 1 回開催し、働くことに悩みを抱え、家族以外の人との関わりが少ない方の居場所作りのひとつとして地域で開催する交流の場とした。 ・家計改善支援事業では 4 名の対

実施事業名	実施内容	実績成果等
⑤ 自立支援金支給事業	(プラン作成 4 件、支援回数 44 回) ・生活収支を確認した結果、関係機関に繋ぎ連携を行った 12 件 ○自立支援金支給事業の実施 ・相談件数 5 件 ・申請件数 2 件 ・支給決定 3 件(1 件は R3 年 3 月申請)	象者に、月々の生活収支や市税滞納状況など確認し、将来的に自己管理できるよう支援を行った。 ・既に特例貸付を利用し、これ以上の特例貸付を利用できない世帯に対応し、求職活動などの要件を満たす 2 名の受給が決定した。
3. ニーズにあったサービスの開発と実施		
生活課題の多様化・個別化に対し、関係機関等との連携を図りながら、質の高い福祉サービスを提供するとともに、新しいサービスを開発し実施する		
(1) ニーズに即した介護保険事業の展開		
① 居宅介護支援事業	○利用実績 開所日数 294 日 契約件数 222 名 ・介護保険 実利用者数 169 名 延利用者数 1,495 名 介護保険収入 25,870,713 円 ・介護予防支援 実利用者数 51 名 延利用者数 540 名 介護予防支援収入 2,365,800 円 ・認定調査 認定調査件数・(牛久市) 32 件 (他市町村) 27 件 認定調査収入(牛久市) 123,200 円 (他市町村) 123,185 円	・要介護認定の申請者数が増えていることから、一般相談や包括支援センターからの新規相談が増加している。 介護支援専門員の担当件数に上限があるため、調整しながら受入を行ってはいるものの、実利用者数は増えている(150 名→169 名)。 ・認定調査は、新型コロナウイルス流行により、更新認定が調査不要の簡易的手順となっていたため、牛久市の認定調査の実施件数は通常時より減っている。
② 通所介護事業	○利用実績 開所日数 309 日 契約者数 96 名 実利用者数 96 名 延利用者数 6,826 名 1 日平均利用者数 22.1 名 介護保険収入 63,149,139 円 平均単価 9,251 円(R3 8,766 円)485 円増 ○行事(季節行事) ・牛久アヤメ園散策(全 7 回) 6/10(金)、6/11(土)、6/13(月)、6/14(火)、 6/15(水)、6/16(木)、6/17(金) 計 61 名参加 ・夏祭り(全 3 回) 8/18(木)、8/19(金)、8/20(土) 計 60 名参加 ・うしく菊花公園散策(全 1 回)	・新型コロナウイルスの流行により令和 4 年 4 月、8 月、令和 5 年 2 月にご利用者様及び職員に陽性者が発生したことに伴い、感染への不安からご利用者様の利用控え起こり、年間での平均利用者数が 22.1%、令和 3 年度(23.5 名)と比較して、1.4 名の減となった。 また、収入についても、約 356 万円程の赤字となった。 ・うしくアヤメ園散策、夏祭り、うしく菊花公園散策、新年会、お花見と季節毎に行事を行うことで、季節の雰囲気を楽しみなが

実施事業名	実施内容	実績成果等
③訪問介護事業	<p>11/3(木) 計 15 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年会(全 3 回) <p>1/19(木)、1/20(金)、1/21(土)、計 69 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花見(全 8 回) <p>3/22(水)、3/24(金)、3/25(土)、3/27(月)</p> <p>3/28(火)、3/29(水)、3/30(木)、3/31(金)</p> <p>計 53 名参加</p> <p>○外出レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いばらきフラワーパーク(春バラ見学) <p>4/21(木)5 名、5/26(木)6 名、6/9(木)5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二所ノ関部屋特別展示会 6/21(火)4 名 ・アクアワールド大洗水族館 7/15(金)5 名 ・果物狩り(梨・ぶどう) 9/26(月)5 名 ・いばらきフラワーパーク(秋バラ見学) <p>10/28(金)4 名、11/10(木)5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成田山新勝寺 11/14(月)3 名 ・明治なるほどファクトリー工場見学 <p>1/27(金)3 名、3/8(水)3 名</p> <p>○創作活動及び畑、苗植え作業</p> <p>4 月 ハーバリウム作り、花植え</p> <p>5 月 プラバンキーホルダー作り</p> <p>6 月 クラフトバンドかご作り、畑作業</p> <p>7 月 風鈴作り、ペットボトル水族館</p> <p>8 月 コンクリートアート</p> <p>9 月 アイロンビーズキーホルダー作り</p> <p>10 月 ハロウィン飾り作り</p> <p>11 月 紅葉の飾り作り</p> <p>12 月 クリスマスキーホルダー作り</p> <p>1 月 絵馬作り</p> <p>2 月 節分カード</p> <p>3 月 雛飾り作り</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 270 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険 <p>契約者数 26 名</p> <p>実利用者数 22 名</p> <p>延利用者数 1,549 名</p> <p>1 日平均利用者数 5.7 名</p> <p>介護保険収入 6,477,861 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援 <p>契約者数 34 名</p> <p>実利用者数 29 名</p>	<p>ら、ご利用者様の生活意欲の向上や交流促進につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数制での外出レクリエーションでは事前にアンケートでニーズを把握しながら、各ご利用者様の希望に沿って外出を行った。少人数での行動という形にすることで、落ち着いたタイムスケジュールで、各ご利用者様のご希望に柔軟に対応することができ、満足度のアップにつながった。 <p>また、次回も外出をしたい為、日頃の運動を頑張ろうというご利用者様もおられ、運動の意欲向上にもつながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作活動において、年間計画を立てて、月毎に季節にちなんだテーマのプログラムを準備することで、ご利用者様の意欲向上や交流促進につながった。 <p>また、お試し体験のご利用者様からも好評をいただき、新規契約の獲得にもつながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の指導による機能訓練を実施することにより、利用者自身が意欲的に運動を行い、体力や筋力の維持向上につながった。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる利用控えにより、介護保険事業では昨年度から利用件数はほぼ横ばいだが、延利用者数は増加している。(1,437 名→1,549 名) ・エールからの依頼が多く入ることもあり、障害者総合支援の平均利用者数が前年度と比較し増

実施事業名	実施内容	実績成果等
	延利用者数 1837名 1日平均利用者数 6.8名 総合支援収入 8,600,574円 ・移動支援 契約者数 16名 実利用者数 13名 延利用者数 467名 一日平均利用者数 1.6名 移動支援収入 1,866,265円	加(一日平均 5.8名→6.8名)している。 ・移動支援においては、新型コロナウイルスの流行により外出の機会が減っているため、サービス利用も昨年と同様の状況が続いている。
(2) ニーズに即した障害福祉サービスの展開		
①知的障害者デイサービス事業	○利用実績 開所日数 242日 登録者数 67名 実利用者数 65名 延利用者数 11,970名 1日平均利用者数 49.5名 自立支援費収入 126,080,548円 利用者負担金収入 2,312,580円 ○就労継続支援事業B型 ・請負作業 収入 1,748,073円 マーナ(開所日) 市役所依頼の作業(随時) シバコーポレーション(開所日) 老人デイサービス浴室清掃(開所日) ・自主製品 収入 7,106,811円 パン・クッキー製造(開所日) 名刺印刷(随時) ・外出活動 ボウリング(7/8、15、10/7) 霞ヶ浦遊覧船(10/19、21、28) つくばイオン映画鑑賞(10/31) いばらきフラワーパーク(11/11、18) 茨城自然博物館(12/7) つくばエキスポセンター(12/9) ・お花見(3/28、29)	・契約者数は、4月に新規利用者4名増となり67名の契約者となったが、年度途中に施設入所で1名の利用者減となり、契約者数は3月末で66名となった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5日間の臨時休所を行った影響などから1日の平均利用人数は昨年比2.9名減となった。 ・マーナの他、市役所からの封入作業の依頼が増えたり、名刺では、個人の名刺だけではなくキッズカードの作成も行い、請負作業の収入は約12万円の増額となった。 ・パン・クッキー活動においては、10月から児童クラブのおやつ提供が再開した。市内で開催されたイベントへの出店も行った。 ・全体の作業収入は前年度よりやや減となり、利用者一人あたりの月額平均工賃は、前年度と比較して、13,154円から12,744円となった。 ・パン・クッキー活動において、赤い羽根共同募金寄付付き商品として、パンを販売し、総額8,970円のご協力をいただいた。 ・外出活動を通して日々のリフレッシュと作業意欲の向上を図

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>○自立訓練（生活訓練）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業訓練（開所日） ・買物訓練（10/25） ・外出活動（12/7、3/22） <p>○生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援班（開所日） ・創作班（開所日） ・PT（理学療法士）指導（開所日） ・生産活動 ・自動販売機清掃 ・お楽しみ会（5/27、10/31） ・散策（龍ヶ岡公園 6/20～6/28） （筑波宇宙センター2/27～3/9） ・水のレク（7/18～7/27） ・調理レク（かき氷 9/7～9/16） （プリンアラモード 1/30～2/7） （サンドウィッチ 3/23～3/31） ・市民文化祭見学（10/13、14、17） ・ナイスハートフェスティバル見学（12/1～3） <p>○健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体検査（月1回） ・心電図検査（9/15、20 5名実施） ・歯科検診（10/14 25名実施） ・健康診断（11/29 25名実施） ・新型コロナワクチン接種 （4日目 8/30 9/13 30名実施） （5回目 12/13、20 35名実施） <p>○行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り（7/2、29家族 82名） ・ぶどう狩り（9/27 16名参加） ・クリスマス会（12/24 31家族 77名参加） 	<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練事業においては、将来就労することを想定し、特に作業訓練に力を入れたため、就労支援事業 B 型の方々と一緒に毎日軽作業の訓練を行った。また、作業訓練を行いつつ、相談や報告など仕事をする上で必要となるコミュニケーションの訓練、時間を確認しながら活動する時間管理の訓練も実施した。 ・生活介護事業においては、体力維持や身体機能の維持向上を目的に、散歩やサーキットで身体を動かし、理学療法士による訓練に取り組んだ。午後は、微細活動や作業で手先を使った活動に取り組んだり、使っているスペースをみんなで掃除をしたり、レクリエーションでボウリングなどを楽しんだ。 <p>生産活動の収入は自動販売機清掃と作業を合わせ工賃支払い総額が昨年度総額 204,344 円から 205,589 円になった。</p> <p>コロナ禍ではあったが感染症対策を行ない、行事も実施した。利用者様もいつもと異なる活動に生き生きとした表情で楽しく参加された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりに心電図検査を実施した。実施時期に新型コロナウイルス感染症が広がってきたため、希望者のみ実施した。ワクチン接種については、昨年に引き続き、河合医師、健康づくり推進課に協力して頂き実施した。 ・バーベキュー交流会に代わり夏祭りを実施した。久しぶりの家族参加の行事となりご家族の皆様も喜ばれていた。夏祭り、クリ

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>②身体障害者デイサービス事業</p>	<p>・ふれあいのスポーツ広場（11月26日3名参加）</p> <p>○相談支援</p> <p>・第1回保護者懇談会（7/6実施） 参加者 22名</p> <p>・第2回保護者懇談会（2/20実施） 参加者 22名</p> <p>・第1回保護者面談（9/26～10/14）</p> <p>・第2回保護者面談（2/27～3/17）</p> <p>○日中一時支援事業</p> <p>平日利用延人数 697名</p> <p>土曜日利用延人数 297名</p> <p>運営費補助金収入 2,660,301円</p> <p>利用者負担金収入 2,595,589円</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 245日</p> <p>登録者数 47名</p> <p>実利用者数 43名</p> <p>延利用者数 2,855名</p> <p>1日平均利用者数 11.7名</p> <p>市受託金収入 40,502,000円</p> <p>○訓練活動</p> <p>・社会生活訓練及び日常動作訓練 移動訓練</p> <p>・機能訓練</p> <p>OTによる機能訓練（月8回）</p> <p>PTによる機能訓練（月8回）</p> <p>STによる言語訓練（月1回）</p>	<p>スマス会共に、感染症対策として3部制にした。</p> <p>・久しぶりの他施設との交流の場となった。全身を使って行う競技を3つ行い、楽しまれていた。</p> <p>・第1回保護者懇談会は新型コロナウイルス感染防止のため、午前1回午後2回の計3回に分けて実施した。</p> <p>・第2回保護者懇談会は新型コロナウイルス感染防止のため、午前生活介護事業、午後就労継続支援事業と自立訓練事業に分かれて実施した。</p> <p>・保護者面談は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、面談方法をわくわくでの面談か電話での面談かの希望をとって実施した。</p> <p>・平日の平均利用者数は2.9名。</p> <p>・土曜日の平均利用者数は6.9名。</p> <p>・新規登録は3名だった。体調不良で長期間お休みされた方が多かった。また、介護保険のサービスに移行された利用者もいたため、1日の平均利用者数は11.7名となった。</p> <p>・訓練活動においては、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて休止していた買物訓練及び調理訓練を換気や消毒を徹底し、少人数で行うなどして再開した。</p> <p>・機能訓練においては、専門家（OT・PT・ST）の指導により、自身の身体の状態を理解し、必要な運動に取り組んでもらうことができた。また、生活指導員が</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>○生きがい活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創作活動及び趣味教養活動（毎日） 籐細工、陶芸、絵画、書道、パソコン等 ・ スポーツレクリエーション（週1回） バグジー、ペタンク、シャッフルボード、ストラックアウト、フライングディスク ・ 健康講座（年3回） 6月トレーニングメニュー再確認、9月スローエアロビ、1月口腔ケアと嚥下 ・ 趣味教養講座（年2回） ジュエルキャンドづくり、フラワーポッドづくり ・ 作品展への出展 茨城県ナイスハートフェスティバル（12月）個人12名 受賞1名、団体1点 市民文化祭（10/13.14） 小坂団地文化祭（11/5） ・ 作品販売 ホワイトマルシェ（8/27） うしく Wai ワイまつり（11/3） おくのふれあいまつり（11/12） ・ 屋外活動 牛久シャトーぶどう狩り（9/27.28.29 23名） うしく菊まつり（11/1.2.4.7.8.10 19名） ナイスハートふれあいフェスティバル見学（12/1.2 22名） 阿見町総合運動公園（3/23.24.28.29 27名） 	<p>個々の生活課題に合わせて、個別の訓練や少人数での運動を行う事で、モチベーションを維持しつつ、機能の維持向上に繋げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陶芸や籐細工等では、上肢や手指の動きを意識しながら、意欲的に取り組むことができた。 ・ スポーツレクリエーションでは、関心を持ってもらえるように新しい種目を取り入れ、利用者同士が楽しみながら、身体を動かすことができた。 ・ ナイスハートフェスティバルは、日頃から意欲的に作品作りに取り組み、1名の利用者様が入賞することができた。また、共同作品を制作することで交流を深めながら創作活動を進めることができた。 ・ 作品展への出展だけでなく、イベントでの作品販売に向けて、意欲的に創作活動に取り組むことができた。 ・ 屋外活動のナイスハートフェスティバルの見学は、感染症対策を考慮し2日間に分散して行った。大洗シーサイドステーションで昼食と買い物を楽しみ、めんたいパークでお土産を買い、利用者様からは食事も買物も楽しめたなどの喜びの声を聞くことができた。 ・ お花見は、感染症対策を考慮し、4日間に分けて実施した。昼食は、カフェピアーズの特製花見弁当を公園で食べた。桜や雪柳などの花を見て季節を感じるこ

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>③放課後等デイサービス事業</p> <p>④福祉タクシー利用料金助成事業</p> <p>⑤補助犬飼育管理費助成事業</p>	<p>○相談支援</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 296日</p> <p>契約者数 26名</p> <p>実利用者数 22名</p> <p>延利用者数 2,207名</p> <p>1日平均利用者数 7.5名</p> <p>障害児通所給付費収入 19,761,097円</p> <p>利用者負担金収入 1,066,042円</p> <p>日中一時支援費収入 310,446円</p> <p>受託事業収入(公費)措置分 1,588,358円</p> <p>○行事</p> <p>ナイスハート美術展見学(12/3 4名参加)</p> <p>クリスマス会(12/17 6名参加)</p> <p>○重度障害者福祉タクシー利用料金助成</p> <p>・人工透析 37名</p> <p>・その他 98名</p> <p>○身体障害者補助犬の飼育経費を一部助成</p> <p>・盲導犬利用者 1名</p>	<p>ができただけでなく、久しぶりに屋外で食事を楽しむことができたことと喜びの声を聞くことができた。</p> <p>・相談支援においては、相談支援事業所や居宅介護事業所等と連携を行い、生活課題の解決に繋がった。</p> <p>・契約者数は1名増加。4～5月は、新型コロナウイルス感染者の発生や感染者数の増加に伴う利用控え、濃厚接触者に該当してしまい利用できなくなるなどの影響で、利用者数が減少した。その後は感染者数増加に伴う部分的な利用者減少の影響を受けつつも、継続してきた感染症対策の効果もあり、大きく利用者数が減少することはなく、1日の平均利用者数は前年度より約1名多い7.5名となった。</p> <p>・常時看護師を配置し、コロナ禍の中でも医療的ケア児への支援が継続できた他、4月や5月の新型コロナウイルスの感染者が増えていた時期でも、公園散策などの外出機会を設けて、感染症対策を踏まえた形での活動を行った。</p> <p>・12月のクリスマス会では、ボランティアの協力を得て、サンタと触れ合い、プレゼントをもらって子どもたちが喜ぶ様子が見られた。</p> <p>・申請者数は、ほぼ定着している。人工透析の申請が増加傾向である。</p> <p>・利用者からは、飼育に必要な費用負担が軽減されると喜ばれた。</p>
(3) ニーズに即した児童発達支援事業・保育園事業の展開		
<p>①こども発達支援センター事業</p>	<p>○利用実績</p> <p>・開所日数 243日</p>	<p>・前年度と比較し、登録者数 26名減、実利用者数 24名減、1日</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>② ふれあい保育園事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 175名 ・実利用者数 164名 ・延利用者数 4,228名 ・1日平均利用者数 17.4名 ・障害児通所給付費収入 51,914,177円 ・市受託金収入 6,326,692円 ○発達支援 <ul style="list-style-type: none"> ・小集団指導 延 3,207名 (内 肢体不自由児クラス 0名) (内 1～2歳クラス 7名) ・個別指導 延 1,553名 ○家族支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学習・講習 就学説明会、就園おはなし会、 保護者勉強会(全14回) 療育基礎講座(全4回) おしゃべり会(全17回) 延 235名 ・主な行事 夏まつり 77人(親子54組) 秋の遠足 9人(親子9組) ・きょうだい児対応 延 871名 ○地域支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談(インテーク) 64件 ・保幼小への訪問支援 63件(延べ192名) ・その他の訪問支援 16件(延べ108名) ・公開療育 未実施 ・保育士研修会への協力 3回 ・教委巡回相談への協力 25回 ・就学時健診への協力 8回 ・かるがも教室 35回 ・療育相談 9回(延べ10名) ・ケース会議の開催 1回 <p>牛久ふれあい保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営実績 <ul style="list-style-type: none"> ・本園 125名(定員130名) ・分園 13名(定員20名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数 <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業 3,165名 ○委託費収入 本園 121,768,960円 分園 32,264,850円 <p><主な行事></p>	<p>平均利用者数3.3名減であった。少子化が進む一方で、市内に児童発達支援事業所が増え、他事業所を利用(または併用)する児童が増えていることの影響と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より低年齢からの利用が増えてきたため、1～2歳対象のクラスを新設し、より早期からの支援体制の充実を図った。 ・勉強会やおしゃべり会など家族向けの企画は、感染対策として人数制限をした上で実施回数を増やし、利用者の参加機会の確保を図った。勉強会等の企画に、前年度の約2倍の保護者の参加があった。 ・コロナ禍ではあったが、感染対策の上で、夏まつりや遠足を開催し、親子で触れ合ったり他の家族と交流する機会となった。 ・コロナ禍3年目となり、他機関との連携による事業展開がだいぶできるようになった。中でも、保育所等訪問支援は、R3年度延べ102名からR4年度192名となり、90名増となり、園生活への支援ができた。 <p>・昨年度に引き続き、コロナ過でも子ども達が安全に活動できるよう配慮し、園内・園外活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園全体で必要な保育士数の確保に苦慮。特に分園では利用定員を制限したため、前年比約30%(△13,584,790円)の減収となった。 ・保幼小交流も密にならないよ

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>毎月の誕生会、交通安全指導、食育活動、夏祭り、運動会、七五三集会、向台小学校給食体験、クリスマス会、発表会、お別れ遠足、卒園式</p> <p>奥野さくらふれあい保育園 ○運営実績 ・75名(定員90名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数 ・延長保育事業 522名 ・一時保育 293名 ○委託費収入 78,754,430円 <主な行事> 毎月の誕生会、こいのぼり集会、プール開き、七夕、遠足 ハロウィン、七五三集会、りんご狩り、クリスマス会、豆まき集会、発表会、ひな祭り、発表会、交通安全教室、卒園式</p> <p>上町ふれあい保育園 ○運営実績 ・本園 124名(定員130名) ・分園 12名(定員12名) ・開園日数 295日 ○特別保育事業 年間延べ人数 ・延長保育事業 2,525名 ・一時保育 147名 ○委託費収入 本園 126,996,810円 分園 20,279,690円 <主な行事> 毎月の誕生会、季節ごとの集会(端午の節句など)、お楽しみ会(年長児)、交通安全指導、食育活動、園外保育、牛久小学校授業体験、夏まつり、運動会、発表会、クリスマス会、おわかれ遠足、卒園式</p>	<p>う小学校、認定こども園と話し合いながら実施することができ、進級への期待を持つことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より月に一度、小学校・児童クラブ・保育園の職員間で会議を行い、学校内全体で問題を共有し、子ども達が安心・安全に過ごせるよう配慮することができた。 ・入園児が少なく、保育収入は前年比約16%(△15,240,780円)の減収となった。 ・今年度は体力作りとして年中組と年長組がスポーツクラブの外部プールで、7月～9月の間にスイミング活動を行い、園児・保護者より好評をいただいた。 ・コロナ禍で中断されていた奥野ふれあい祭りに参加し、可能な限り地域交流を行った。また、おくの地区社協主催によるさつまいも掘りに参加。おくの義務教育学校の生徒との交流もでき地域の保育園として定着してきた。 ・行事など分散、縮小で行う中でも、コロナ禍での経験を活かし工夫して行ない、職員間での連携も良く、昨年度以上に見通しを立てた準備や活動ができたことで、園児も安全に楽しむことができた。 ・和太鼓活動では、今年度も牛久三中生との交流は見合わせた。保護者への披露はでき、園児の自信へと繋げることはできた。また、練習を通して園児の集中力や忍耐力を養うことができた。 ・保幼小交流も分散しながら行うことができ、就学への期待を持てたり、牛久第二幼稚園との交流を行うことで、就学前に交友関係の広がりをつくることができた。

実施事業名	実施内容	実績成果等
Ⅲ.地域の福祉力を高める。		
1. 支えあう心を養う 福祉の心を養い、地域福祉活動への関心を高める環境を整備する		
(1) 子どものころから福祉の心を養う		
①牛久市社会福祉大会 の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/11 中央生涯学習センター ・ 式典、映画「梅切らぬバカ」 ・ 参加者 約 500 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉活動へ貢献された方々への顕彰と合わせ、映画上映を行い、地域における住民同士の助け合い活動の必要性を啓発することができ、大盛況であった。
(2) 情報発信による地域福祉活動の活性化		
①「こんにちは！社協です」の発行 ②社協パンフレットの配布 ③ホームページによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○社協広報紙の発行 ・ 6/1 号、9/1 号、1/1 号、3/1 号の発行 (各戸及び関係機関配布) ○社協パンフレットの作成及び配布 ・ 社協の主事業をまとめた総合パンフレットの作成及び周知 1,500 部 ○ホームページの運営及び公開 ・ ホームページの活用 ・ SNS の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協会員募集のお願いや各事業の紹介など、幅広く周知することができた。 ・ 多くの市民や関係者等に社協パンフレットを配布し、事業の紹介や理解を広められた。 ・ ホームページ及び SNS を随時更新し、社協の情報を発信した。
2. 小地域福祉活動の推進 小地域福祉活動の基盤を整備し、住民主体の活動を支援する		
(1) 小地域福祉活動の基盤づくりと活動支援		
①地域福祉活動のコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ○地区社協活動への主な支援・協働活動 ・ 牛久小学区地区社協：住民交流としてたまり場の提供、サロンとまり木の運営 他 ・ 二小学区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施、サロンむつわの運営 他 ・ おくの地区社協：おくのふれあいまつり、一人暮らし高齢者見守り訪問活動の実施 他 ・ 神谷小学校区地区社協：小学生と高齢者をつなぐふれあい訪問の実施 他 ・ 向台小学校区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施 他 ・ 岡田小学校区地区社協：1 対 1 の見守り活動、地区社協ボランティア移送の実施 他 ・ 中根小学校区地区社協：地元探索ウォーキング、一人暮らし高齢者見守り訪問の実施 他 ・ ひたち野うしく小学校地区社協：映画上映会、防災バス研修 他 ○地区社協会長会議の開催 ・ 4/5、8/22 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区社協とも With コロナを意識し、感染対策を徹底しながら、徐々に住民同士の交流活動やイベントなど再開された。 令和 3 年度に続き、各地区社協ともコロナ禍における一人暮らし高齢者の見守り訪問活動を実施し、対象者の不安解消や住民同士のつながりを深めることができた。 ・ 介護予防・生活支援サービス事業の通所型サービスや地区社協ボランティア移送サービス事業の運営についても、地域のボランティアの協力により実施することができた。

実施事業名	実施内容	実績成果等
②地区社協活動支援助成事業	<p>○地区社協活動支援助成金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に即した地区社協活動の促進を図り、地域住民による地域福祉の増進に寄与 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協向台小学校区地区社協、岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×50 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金の配分金を活用し、地区社協活動を支援するための助成事業を行い、各地区社協で地域の実情に合った活動が推進された。
③地区社協支援事業	<p>○地区社協活動支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の運営費助成と、地区社協活動を推進するため、地域福祉コーディネーターを設置し、円滑な事業運営を支援 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協、向台小学校区地区社協 岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×20 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協運営費を助成することによって、役員会及び運営委員会など、各地区社協とも円滑な組織運営及び事業が推進された。 ・コーディネーターを設置し、地区社協と連携し、適切な支援が行えるよう体制の充実を図った。
④認知症の人を支えるまちづくり事業	<p>○認知症サポーター養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8 小学校 782 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、認知症への理解をとおして、支え合いの大切さを伝えることができた。今年度もボランティアの協力を得ながら講座を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、密を避けるために分散し回数を増やし、広い会場を使用して講座を実施した。
⑤生活支援体制整備事業	<p>○第1層協議体の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援協議会の開催 <p>第1回 5/19 22名 第2回 3/20 17名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修の開催 <p>12/20 16名 市地域医療連携センター 講演 With コロナ時代における つながりの再構築 講師 長谷川幸介氏</p> <p>○第2層協議体の設置運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久第二小学校区 <p>6/22 9名、10/29 9名、2/22 7名 スキルアップ研修 8/26 27名 ・中根小学校区 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底しながら、第1層協議体及び第2層協議体とも概ね事業計画通り実施することができた。特に、第2層協議体については、地域の皆さんと地域の事業所等がそれぞれの活動内容を確認するとともに、小学校区ごとの課題に対して、一緒に対応策を話し合うなど、役割分担やネットワークの強化につながった。

実施事業名	実施内容	実績成果等
⑥福祉委員会	<p>6/28 9名、10/18 9名、2/21 9名 スキルアップ研修 9/8 28名</p> <p>・牛久小学校区</p> <p>6/23 13名、10/13 9名、3/2 9名 スキルアップ研修 8/31 35名</p> <p>・神谷小学校区</p> <p>7/8 14名、10/21 12名、2/28 10名 スキルアップ研修 8/28 27名</p> <p>・ひたち野うしく小学校区</p> <p>7/4 9名、9/12 8名、10/24 9名、 3/6 8名</p> <p>映画上映会 11/27 97名</p> <p>・岡田小学校区</p> <p>7/7 12名、10/20 12名、3/3 12名 スキルアップ研修 8/29 39名</p> <p>・向台小学校区</p> <p>7/11 11名、10/31 12名、2/20 10名 スキルアップ研修 9/2 30名</p> <p>・おくの義務教育学校区</p> <p>7/5 13名、11/22 11名、2/27 11名</p> <p>○福祉委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年度に引き続き開催を中止し、個別訪問等で内容説明及び資料配布</p> <p>5月18日(水)～5月31日(火)福祉委員宅訪問 ・社協会員の募集依頼について</p> <p>○社協会費 ・一般会費 16,115世帯 7,537,990円 ・特別会費 45世帯 57,100円</p> <p>9月6日(火)～9月17日(土)福祉委員宅訪問 ・赤い羽根及び歳末たすけあい募金協力依頼について</p>	<p>・前年比 253世帯、127,890円の減となった。</p>
(2) 人や地域がつながる活動の支援		
<p>①地域福祉活動助成事業</p> <p>②地区社協ボランティア移送サービス事業</p>	<p>○助成金交付審査会の開催</p> <p>・6/17 委員5名</p> <p>○申請団体7団体</p> <p>○助成決定団体7団体、16事業</p> <p>○助成額325,000円</p> <p>○生きがいサポート協働事業の実施</p> <p>・二小学区地区社協 火・金曜日に外出サポート</p>	<p>・赤い羽根共同募金の配分金を活用し、障がい者支援や子育て支援など、地域福祉の向上につながるボランティア・市民活動の一助となった。</p> <p>・二小学区地区社協、岡田小学校区地区社協、向台小学校区地区社協が通院等の外出サポートを行</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
③ふれあいサロン活動の推進	利用者数：延べ 385 名 ・岡田小学校区地区社協 火・水・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ 145 名 ・向台小学校区地区社協 月・木・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ 105 名 ○ふれあいサロン設置状況 計 65 か所 ・地域サロン 59 か所 回数 2,367 回 延べ人数 26,859 人 ・子育てサロン 6 か所 回数 59 回 延べ人数 802 人 ○ふれあいサロン研修会 ・講演、実技 「芯から変わるココロとカラダの健康対策!!」 9/30 71 名 牛久運動公園メインアリーナ	い、その活動を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底して実施した。 ・研修会では、良い姿勢を通してココロもカラダも前向きになる講話と実技を学び、加齢にともなう心身低下を予防するために、効果的な体操が必要であることの意識啓発となった。

(3) 住民参加による相互扶助活動の充実

①有償在宅福祉サービス事業	○ふれあいサービス 高齢者世帯及び障害者世帯への掃除や食事づくり等の家事援助 ・協力会員登録者 108 名（実動 19 名） ・利用会員登録者 150 世帯（実利用 19 世帯） ・延べ利用回数 505 回 ・延べ利用時間 456 時間	・感染防止対策を取りながら、活動を行うことができた。
②ファミリーサポートセンター事業	○ファミリーサポート 家族が子どもの面倒を見られない時の保育や送迎及び産前産後の家事援助 ・協力会員登録者 171 名（実動 24 名） ・利用会員登録者 625 世帯（実利用 27 世帯） ・延べ利用回数 566 回 ・延べ利用時間 703.5 時間	・新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅ワークやオンライン授業期間の見守りなどの依頼が増えた。 ・定期的な多子やひとり親世帯の保育補助の依頼が増えた。
③重度身体障害者移送サービス事業	○重度身体障害者移送サービス 車イスの方等一人での歩行が困難な方が通院・社会参加等の際の移送支援 ・協力会員登録者 22 名（実動 11 名） ・利用会員登録者 52 名（実利用 15 名） ・延べ利用回数 441 回 ・延べ利用時間 236 時間	・主な活動は、通院及び当事者団体の定例会議等への移送である。通院については増加傾向である。

3. ボランティア・市民活動の活性化

活動支援体制を強化し、常に新たなニーズに対応できる、市民に役立つボランティア・市民活動センターの充実を図る

実施事業名	実施内容	実績成果等
(1) 個々の活動支援と団体相互の連携強化		
<p>①育成支援活動</p> <p>②ネットワーク活動</p>	<p>○各種講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてボランティアオンライン講座 4・6・8・10・12・2月の第4木曜日～ 1週間 Youtube で公開 延べ18名 ・NPO 入門講座 7/7 11名 ・親子ふれあい体験 5/8 4家族11名 ・声の広報音訳ボランティア養成講座 5/10～全10回 9名 ・ボランティア入門講座 3/6、3/7、3/13 13名 ・災害ボランティアセンター運営訓練 2/3 50名 <p>○福祉教育推進事業の強化及び福祉教育の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験教室 車イス体験、アイマスク体験、 高齢者疑似体験 小学校5校 延べ533名 <p>○ボランティア団体等登録状況</p> <p>登録団体数 225 団体 (4,714 名)、 個人 472 名、 計 5,186 名</p> <p>○ボランティア・市民活動団体等との連携・ 協働活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめまちネット牛久市ボランティア・市民 活 動ネットワークの事務局と協働連携 ・ボランティアリーダー研修会 10/22 60名 三日月橋生涯学習センター 基調講演 <p>○施設等ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/21 施設等のボランティア担当者研修会 10施設12名 ZOOMによる講演と情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・音訳ボランティア団体の協力を得て、声の広報ボランティア養成講座を実施し、5名が協力者として活動に参加していただけることになった。 ・令和4年度新たに市内小学校区別にボランティア入門講座を実施した。ボランティアや地区社協活動に参加いただき、各地域のボランティア活動希望者発掘につながった。 ・コロナ禍を経て、解散や活動中止の報告がある中、新規に活動をスタートさせる団体もあった。 ・県社協ボランティアアドバイザーを招き、コロナ禍におけるボランティア活動を通じたつながりの大切を学ぶ講演会を開催することができた。 ・ZOOM を活用した研修を行った。参加者からは、ほかの施設の状況がわかり、これからの活動に活かせると好評だった。
(2) 新たなニーズにも対応できる機能の整備と充実		
<p>①相談・あっせん活動</p> <p>②センター機能充実</p>	<p>○センター設備及び相談窓口の整備</p> <p>○活動に関する需給調整</p> <p>ボランティア相談件数 107 件 紹介件数 52 件</p> <p>○運営委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/27、3/9 研修会 10/25 <p>○ボラセンニュース(市内回覧)発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/1、7/1、9/1、11/1、2/1 	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々にボランティア活動の受入れが再開し、施設やイベントへの紹介件数が増加した。 ・研修会では、車椅子けん引式補助装置を使った実演と講話により、災害弱者問題について学び、活動支援の強化を図った。

実施事業名	実施内容	実績成果等
	○ホームページの運営	
IV.役に立つ組織に再構築する。		
1. 職員教育の徹底 職員研修の充実を図り、住民の視点に立った地域福祉の推進役となる専門性を持った職員を育成する		
(1) 計画的な職員の育成		
①計画的な職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種専門研修への参加 ・ 内部研修の実施 ・ 計画的な職員採用 法人説明会 4/25,5/11,5/19,5/31,6/8, 6/13 の6回開催 10名参加 採用試験 7/10,8/6,10/29,2/5 の4回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人広告サイトを利用したの職員募集や採用試験受験予定者を対象とした法人説明会を6回開催し社協事業PRを行った。また新卒学生、既卒者向けの職員採用試験を年4回実施し、令和5年4月採用となる8名の専任職員を採用した。
2. 安定した財源の確保 コスト意識を徹底し、効果的で効率的な自律した経営に努める		
(1) 積極的な財源の確保		
①自主事業の効率的運営及び拡充 ②会費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険事業、障害者支援事業、牛久ふれあい保育園、奥野さくらふれあい保育園、上町ふれあい保育園の拠点区分ごとに自主事業を運営 ・ 市内法人に電話連絡及び訪問により、社協法人会員への協力を依頼 276社 (2,868,000円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の参加意欲を促すような内容を取り入れた事業展開を図るとともに、常にコストを意識した事業運営に努めている。 ・ 前年度対比、1社減、10,000円の増となった。
3. 計画の進行管理 この計画の進捗状況を確認し、進行を管理する。		
(1) 理事会による進行管理		
①理事会による進行管理	●理事会 ○第1回 5月26日(木) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度一般会計補正予算(第8~10号)専決処分報告 ・ 令和3年度事業報告 ・ 令和3年度一般会計収入支出決算監査報告 ・ 指定訪問介護事業所運営規程の改正 ・ 指定通所介護事業所運営規程の改正 ・ 指定居宅介護事業所運営規程の改正 ・ 牛久市地域活動支援センター身体障害者デイサービス運営規程の改正 ・ 指定第一号訪問事業所運営規程の改正 ・ 指定第一号通所事業所運営規程の改正 ・ 指定居宅介護支援事業所運営規程の改正 ・ 指定特定相談支援事業所及び指定障害児 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険事業及び障害福祉サービス事業の運営規程において、虐待防止のための措置、身体拘束の適正化について条文を改正した。

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>相談支援事業所運営規程の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定知的障害者デイサービス事業所運営規程の改正 ・ 指定放課後等デイサービス事業所運営規程の改正 ・ 指定放課後等デイサービス事業所日中一時支援事業運営規程の改正 ・ 評議員候補者の提案 ・ 第 1 回評議員会の書面による決議 <p>○第 2 回 11 月 24 日 (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度一般会計補正予算(第 1～3 号) 専決処分の報告 ・ 表彰規程施行細則専決処分の報告 ・ 牛久ふれあい保育園園長任命専決処分の報告 ・ 職員の育児・介護休業等に関する規則の制定 ・ 職員就業規則の改正 ・ 嘱託職員就業規程の改正 ・ パートタイム職員就業規程の改正 ・ 臨時職員就業規程の改正 ・ 指定訪問介護事業所運営規程の改正 ・ 指定通所介護事業所運営規程の改正 ・ 指定居宅介護事業所運営規程の改正 ・ 牛久市地域活動支援センター身体障害者デイサービス運営規程の改正 ・ 指定第一号訪問事業所運営規程の改正 ・ 指定第一号通所事業所運営規程の改正 ・ 指定居宅介護支援事業所運営規程の改正 ・ 指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の改正 ・ 指定知的障害者デイサービス事業所運営規程の改正 ・ 指定放課後等デイサービス事業所運営規程の改正 ・ 指定放課後等デイサービス事業所日中一時支援事業運営規程の改正 ・ 評議員候補者の提案 <p>○第 3 回 3 月 17 日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度一般会計補正予算(第 4～5 号) 専決処分の報告 ・ 令和 5 年度事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場における出産、育児、介護による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児、介護を両立できるよう、職員の育児・介護休業等に関する規則を制定した。 ・ 理事会終了後、令和 5 年 3 月 11 日(土)開催の牛久市社会福祉大会における顕彰者の表彰審査会を開催し、表彰の部 77 組、感謝の部 56 組の顕彰を決定した。 ・ 法人印章の適切な管理、保管、運用ルールを具体化し、リスク管理体制の強化とコンプライアンス

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度一般会計収入支出予算 ・印章管理規程の制定 ・職員就業規則の改正 ・職員給与規程の改正 ・パートタイム職員就業規程の改正 ・臨時職員就業規程の改正 ・処務規程の改正 ・指定訪問介護事業所運営規程の改正 ・指定第一号訪問事業所運営規程の改正 ・指定居宅介護事業所運営規程の改正 ・指定通所介護事業所運営規程の改正 ・指定第一号通所事業所運営規程の改正 ・役員等賠償責任保険契約の締結 ・第 2 回評議員会の開催 <p>●評議員会</p> <p>○第 1 回 6 月 20 日 (月) 書面決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度一般会計補正予算(第 8～10 号) 専決処分の報告 ・令和 3 年度事業報告 ・令和 3 年度一般会計収入支出決算 監査報告 ・役員を選任 <p>○第 2 回 3 月 28 日 (火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度一般会計補正予算(第 1～5 号) 専決処分の報告 ・令和 5 年度事業計画 ・令和 5 年度一般会計収入支出予算 ・理事を選任 <p>●評議員選任解任委員会</p> <p>○第 1 回 5 月 26 日 (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 5 名 <p>○第 2 回 11 月 24 日 (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 2 名 	<p>ス遵守を目的とした、印章管理規程を制定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則において、専任職員の定年年齢を段階的に引き上げ、令和 13 年 4 月以降 65 歳とした。 ・職員給与規程において、定年年齢の引き上げに伴い、当該職員の給与月額を 60 歳に達した翌年度に適用される額の 7 割にしたほか、月 60 時間を超える時間外労働の割増賃金率を 50%に上げた。 <p>・理事構成団体の役員変更に伴い、牛久市障害者連合会の福田進久会長を理事に選任した。</p> <p>・内藤副会長の定年退職に伴い、渡辺恭子次期保健福祉部長を 4/1 からの任期で理事に選任した。</p> <p>・評議員構成団体の役員交代等に伴い、各団体等からの推薦書に基づく理事会の提案により、7 名の評議員の選任を行った。</p>

4. 適切な法人運営、事務局運営

地域住民とともに住みよいまちづくり実現を目指すための組織、運営体制の整備に努める

(1) 事務局運営体制の整備

<p>①効率的な事務局運営</p>	<p>○一般寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金 34 件 1,348,384 円 ・物品 40 件 <p>電子ピアノ、タオル類、紙おむつ等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や介護保険事業等で活用できる、実用的な物品を多数ご寄付いただいた。
-------------------	---	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
(2) 情報発信機能の充実		
①効果的なパブリシティの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・社協活動や福祉活動の情報を、社協広報紙(年4回)、パンフレットの配布(年1回)、地域かわら版(毎月)、ホームページ運営、SNS活用(随時更新)、FM うしくうれしく放送により市民の方々へ情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報提供により、市民の皆様に最新の情報提供が行えている。 ・FM うしくうれしく放送で「社会福祉協議会だより」のコーナー(毎週1回)を設け、社協職員による事業紹介を行っている。